

ぽぽデイだより NO.112 令和4年5月号

社会福祉法人 ほっとスマイル
ぽぽデイ名塩駅前 669-1133 西宮市東山台 1-1(1階) TEL0797-62-1165

施設長より

新しい年度が始まりました。進級、進学されて新しい環境に慣れることに精一杯の子どもさんのしんどさに寄り添いながら、ぽぽデイではなるべく余計な負荷をかけないように配慮してきました。それでも変化は少しずつ起こります。先日は外遊びに行かない小学1年、2年生の子どもさんと、中高生の子どもさんが初めて一緒に過ごす時間がありました。トイレ介助などで他の職員が部屋を離れる時間、「〇〇君お願いします。」と1年生の見守りを頼まれました。すると、中学生のお兄さんから「僕が見ておいてあげようか？」と予想外の申し出。「わー、嬉しい。お兄ちゃんが一緒に遊んでくれるって！よかったね！」と私。もちろん安全管理は職員の義務。任せきりにはできません。1メートルほど離れて見守ることにしました。ほどなくお迎えがあり、彼の役割はわずか10分足らずで終わりました。でも、一緒に過ごす中で大人の関わりを見、どのように接すれば良いか判断し、自分にもできると主体的に行動する姿に結び付いたと考えました。自分にはできるという自己効力感と主体性。大げさに言うと、これから生きていくうえでとても大切なこの二つを、わずかな時間に見せてくれた彼の姿に感動しました。

同じ日にもう一つのエピソード。中学生のお姉さんと小学1年生が言葉の代わりに文字盤を介して自己紹介です。お互いの名前を文字盤でさし示した後、「す・き」と示すお姉さん。そして、まだ小さい1年生を撫でてあげようとしてくれます。その目と口元にやさしい微笑みがあります。年長者が年少者に示すいたわりの心が溢れます。

いろいろな特性のある子どもたちが一緒に過ごす難しさもありますが、その中でこそ育まれる子どもの成長もあります。一人ひとりの人格を尊重するというのを、改めて教えられる日々です。

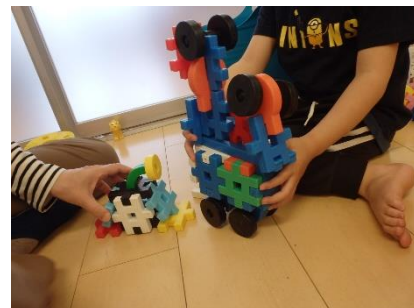
児童発達支援 いちご組

新年度に入り、2階から1階のお部屋へと大きく、あそび・活動の環境が変わりました。

子ども達の不安や緊張の表情も見られましたが、お部屋を1つひとつ探索をされながら受け入れ、ぽぽデイが少しずつ安心できる空間になってきているようで嬉しく思います。

2～3名の小さな集団で、しっかりと自己を主張したり、また指先を使った微細あそびや体をダイナミックに使った粗大あそび等、お友だちや大人とのやり取りの中で、『できた！』『成功した！』たくさんの自信を、一緒に経験していきたいと思えます。

朝、来られてからの準備(靴下を脱いで洗濯ばさみではさむ、今日の予定を一緒に確認することで安心し、見通しを持って過ごすことが出来る)、色々な設定あそび・活動に挑戦してみる・経験する…日々、積み重ねていることを大切にしていきたいと思えます。



放課後等デイサービス

進級や入学など、新しい生活に少しずつ慣れてきたところかと思えます。4月からは授業時間が長くなったり、学校での先生やお友達との新しい出会いに、少し戸惑いもあったことかと思えますが、ぽぽデイでリフレッシュして疲れを発散してくれるお子さんの姿も見られました。ぽぽデイでは、あまり外で遊ぶことが少なかったお友達が、外に行っておもいきり体を動かして遊んだり、今までしなかった遊びも友だちを通じて楽しめるようになったりと新しい経験をしていくお子さんの姿が見られました。中学生、高校生になったお友達は、新しく制服を着るようになり、職員から「かっこいいね」と言われて照れながらも嬉しそうな表情を見せてくれました。上着を掛けて置いたり、シャツのボタンやベルトをしっかりと止める練習もしました。

今後も集団活動を通して、楽しみながら新しいことへの出会いを増やしていければと思います。



7日(土) 第1土曜日活動
31日(火) 安全点検日

21日(土) 第3土曜日活動

スタッフの一言

進級・進学されて1か月が過ぎました。
新しい環境の中、目に見えないお疲れもある事と思えます。
親御様も無理をなさらず、笑顔で日々過ごして頂けたらと。私自身も心がけたいと思っています。
岸田

新しい学年になり、環境も変わり緊張しながらも頼もしく感じられる子供達を見て、私も嬉しく思っています。
子供達の笑顔に元気をもらいながらこれからも楽しい時間を一緒に過ごしていきたいと思えます。
佐渡本